



UNIVERSITY OF TSUKUBA

Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
Degree Programs in Humanities and Social Sciences

筑波大学大学院

人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群

人文学学位プログラム

Master's and Doctoral Programs in Humanities

- ▶ 哲学・思想サブプログラム Subprogram in Philosophy
- ▶ 歴史・人類学サブプログラム Subprogram in History and Anthropology
- ▶ 文学サブプログラム Subprogram in Literature
- ▶ 言語学サブプログラム Subprogram in Linguistics
- ▶ 現代文化学サブプログラム Subprogram in Modern Culture Studies
- ▶ 英語教育学サブプログラム Subprogram in English Language Education

国際公共政策学位プログラム

Master's and Doctoral Programs in International Public Policy

国際日本研究学位プログラム

Master's and Doctoral Programs in International and Advanced Japanese Studies

2021

筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群 2021

目次

- 01 人文社会科学研究群の概要
- 07 入試・取得学位について
- 08 研究群全体に開かれたプログラム
- 09 研究群の英語プログラム
- 10 人文学学位プログラム哲学・思想サブプログラム（博士前期課程/博士後期課程）
- 12 人文学学位プログラム歴史・人類学サブプログラム（博士前期課程/博士後期課程）
- 14 人文学学位プログラム文学サブプログラム（博士前期課程/博士後期課程）
- 16 人文学学位プログラム言語学サブプログラム（博士前期課程/博士後期課程）
- 18 人文学学位プログラム現代文化学サブプログラム（博士前期課程/博士後期課程）
- 20 人文学学位プログラム英語教育学サブプログラム（博士前期課程/博士後期課程）
- 23 国際公共政策学位プログラム（博士前期課程/博士後期課程）
- 25 国際日本研究学位プログラム（博士前期課程/博士後期課程）
- キャンパスマップ 中地区
- 大学へのアクセス

CONTENTS

- 06 Outline
 - Outline of Degree Programs in Humanities and Social Sciences,
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
- 07 Admission and Degrees
- 08 Special Program
- 09 Special Programs in English
 - Master's and Doctoral Programs in Humanities
- 10 Subprogram in Philosophy
- 12 Subprogram in History and Anthropology
- 14 Subprogram in Literature
- 16 Subprogram in Linguistics
- 18 Subprogram in Modern Culture Studies
- 20 Subprogram in English Language Education
- 23 Master's and Doctoral Programs in International Public Policy
- 25 Master's and Doctoral Programs in International and Advanced Japanese Studies
- Campus Map (Central Area)
- Access to University of Tsukuba

人文社会科学研究群の概要

1. 人文社会科学の大学院教育の重要性

冷戦の終焉と経済のグローバル化によって、世界中に自由と民主主義の理念が行き渡り、平和と繁栄がもたらされる、というのはただの幻想にすぎませんでした。自由や民主主義という価値を共有しない国家は依然として存在し、民族紛争や内戦、テロ、政治的抑圧が止むことはなく、富裕層と貧困層との格差は広がり、地球規模の環境破壊が生じていても国家の利益が追求され、難民・移民や少数者に対する差別・不寛容が蔓延し、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）はつながりを生む一方でエコーチェンバー化する——私たちの眼前に広がる光景は、さまざまな社会的・文化的な諸問題が、複雑に絡まりながら、今なお増え続けているという現実です。

「人文社会科学は役に立たない」といわれていますが、これらの諸問題の根底にあるのは、人間とは何か、人間の本性とは何か、人間と人間の関係はどのようなべきなのかといった問いです。もちろんこれらの問いは、一朝一夕に答えを出せるわけではありません。しかし人類の来し方行く末を考える人文社会科学こそ、これらの問いを考えるのに相応しい学問であることは間違いありません。

もっとも、人類が抱える諸問題のなかには、近い将来、人工知能（AI）研究やビッグデータ解析によって解決されるものもあるかもしれません。10年後を見

通して日本政府が策定した「第5期科学技術基本計画」（2016～2020年度）は、仮想空間と現実空間を高度に融合させ、科学技術イノベーションによって経済発展と社会的課題の解決を両立させる「超スマート社会」の実現を未来の目標とし、その実現に向けた一連の取り組みを「Society 5.0」として推進していくことを謳っています。「Society 5.0」では、仮想空間および現実空間で生じる多種・多次元のビッグデータをAIによって解析し、その結果を、ロボットなどによって人間にフィードバックし、新たな価値を産業や社会にもたらすことが期待されています。

しかし人間にとって有益な社会変革を実現するには、AIやロボットなど科学技術の高度化だけでは不十分です。高度な科学技術が、哲学・倫理学・言語学・法学・国際公共政策学などの人文社会科学と融合されてはじめて、社会イノベーションを生み出すことができるといっても過言ではありません。

前述の「第5期科学技術基本計画」は、科学技術イノベーションを支える人材を生み出すには大学院教育が重要だと指摘しています。これからの人文社会科学の大学院教育では、広い視野による情報の把握・判断、抽象的な概念の整理・創出、異文化の者を含む他者の理解・説得・交渉などを修得することが期待されています。

2. 人文社会ビジネス科学学術院

本学は、今日まで、幅広い学問分野にわたる専門性の深化とともに、学際的・分野横断的な教育を積極的に展開して社会の要請に応えようという理念をもって大学院教育の充実に取り組んできました。

1973年の開学当初から「新構想」の一つとして「大学院の重視」を掲げ、独創的な研究能力を備えた研究者の養成を目的とする5年一貫制の博士課程と、専門性の高い職業人の養成や社会人の再教育を目的とする修士課程を並列的に設置しました。その後、大学院を一層重視した教育研究体制とするため、2000年から2001年にかけて、20の博士課程研究科を6つの大研究科に改組再編する改革を行いました。このときに人文系および社会科学系の研究科も統合・再編し、人文社会科学研究科が誕生しました。

2004年の国立大学法人化後、本学は、高度化・多様化する社会や学生のニーズに対応するため、一貫制博士課程から区分制博士課程への転換、修士課程研究科から博士前期課程への移行、専門職大学院の設置、新たな方式による連携大学院の設置、新領域における専攻の設置など、人材養成上の目的や分野の特性に応じて多様な専攻編成を可能とする方向で大学院教育の充実・強化を図ってきました。

また大学院教育の実質化を図るべく、授与する学位ごとにディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学受け入れの方針）を明確にして「大学院スタンダード」として公表し（2014年）、これに沿って教育課程を編成してきました。

2020年度から大学院を学位プログラム制に全面移行することとなり、学内の幅広い学問分野の教員が、所属組織（研究組織）の枠を越えて協働し、学位プログラムを展開することができる教育体制を構築することとなりました。そこで、学生の教育と教員の研究を一体的に行う「研究科」とは異なり、教員の所属組織とは独立した教育組織として「学術院」を設けることになりました。本学では、「人間の集合体である社会を探求する」、「科学技術の根本原理を解き明かす」、「学際的・総合的な視点で人間研究を行う」という3つのコンセプトによって、「人文社会ビジネス科学学術院」、「理工情報生命学術院」、「人間総合科学学術院」の3つの学術院が置かれます。

「人文社会ビジネス科学学術院」は、主に学部（学群）からそのまま進学して研究者となる者を養成する大学院教育を実践してきた人文社会科学研究科が、社会人のための夜間大学院のパイオニアとして実績を上げてきたビジネス科学研究科と同じ学術院を構成することで、研究群間での学際的な分野への研究協力、研究指導を可能にしようとするものです。本学術院は、人文学、社会科学、ビジネス科学に関する多面的かつ高度

3. 学位プログラム

「学位プログラム」とは、大学や大学院などにおいて、学生に学士・修士・博士などの学位を取得させるにあたり、当該学位のレベルと分野に応じて達成すべき能力を明示し、それを修得させるように体系的に設計した教育プログラムのことです。

各学位プログラムは、教育の質を保証するため、博士前期課程と博士後期課程のそれぞれのレベルに応じて、授与する「学位」と「人材養成目的」を設定し、「汎用コンピテンス」と「専門コンピテンス」（学位プログラムコンピテンス）をディプロマ・ポリシーとして明示し、その達成に向けた教育プログラムの編成方針、学修の方法・プロセス、評価の観点・方法をカリキュラム・ポリシーとして定めて体系的に教育を実施し、アドミッション・ポリシーも明確にします。1つの学位プログラムが授与する学位は1種類だけです。学生は、各学位プログラムにおける学修を通じて、汎用コンピテンスおよび専門コンピテンスを修得します。「コンピテンス」とは、学位授与時に学生が備えているべき知識・能力等のことです。

「汎用コンピテンス」は、世界の多様な場、変化の

な教育研究を通じて、人間の価値や人と社会のあり方を時間軸、空間軸を交差させて総合的に探究することによって、新たな知を創造し具現化できる研究者、大学教員、専門的な職業人を養成することを目的としています。本学術院には、「人文社会科学研究群」と「ビジネス科学研究群」、それに専門職大学院が置かれています。

学術院には、学生の専攻分野に関連する分野の基礎的素養、広い視野や俯瞰力を涵養することを目的として、「学術院共通専門基盤科目」が開設されています。本学術院では、人間および社会に関する諸問題、隣接・関連分野における研究手法に関する基礎的な知識を広めることによって、学生の専攻分野に関する研究を広い視点から捉え直し、新たな研究を推進することを促すために「ビジネス法入門」や「哲学プラクティス」などの科目が置かれています。また企業・組織の経営者による経営上の課題とトップマネジメントの実践方法を修得することを目的とし、学生が社会のニーズに応え、キャリアパスを意識した研究を推進するための基礎的な素養を身につけることができる「トプレクチャーⅠ・Ⅱ」も開設しています。

激しい社会で生涯にわたる活躍を支える資質としての汎用的能力で、学生の専攻分野にかかわらず、本学大学院生として共通に達成されるべきものです。博士前期課程修了時に備えるべきコンピテンスは、「知の活用力」「マネジメント能力」「コミュニケーション能力」「チームワーク力」「国際性」です。また博士後期課程修了時に備えるべきコンピテンスは、「知の創成力」「マネジメント能力」「コミュニケーション能力」「リーダーシップ力」「国際性」です。汎用コンピテンスは、生命・環境・研究倫理科目群、情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群、国際性養成科目群、キャリアマネジメント科目群、知的基盤形成科目群、身心基盤形成科目群からなる大学院共通科目などを通じて身につけます。

「専門コンピテンス」は、学生の専攻分野に関する高度な専門的知識・能力で、前述した学術院共通専門基盤科目や研究群共通科目などによって身につけます。専門コンピテンスは、学術院—研究群—学位プログラムの階層ごとに体系的に設定されていますので、学位プログラムコンピテンスを修得すれば、学術院お

および研究群のコンピテンスも充足できます。学術院および研究群の専門コンピテンスは、博士前期課程・博士後期課程とも、「研究力」「専門知識」「倫理観」です。人文学学位プログラムは、このほかに「思考力」「総合力」を身につけることを求めています。

コンピテンスの修得は、学生のキャリアプラン等に応じた幅広い学修に対応するための履修指導において、①カリキュラムマップで授業科目とコンピテンスの関係を学生と指導教員が互いに確認し、②学生ごとの修得状況を達成度評価シートによって管理し、③論文指導、中間評価、予備審査等の機会を利用して、指導教員と学生との対話によって授業以外の学修・研究活動（学会参加、インターンシップ等）の状況も確認します。こうして指導教員が、学生ごとに、コンピテンスの修得状況を確認し、不足がある場合は履修指導によって補い、コンピテンスの達成度を判定していきます。

これまで日本の大学や大学院では、「学生の所属する組織」、「教員が所属する組織」、および「提供され

る教育プログラム」が一对一の関係にありました。大学院では、その基本単位は「専攻」でした。そのため社会の変化や研究・教育の必要性によって新たな教育プログラムを編成しようとしても、「専攻」の壁によって機動的に行うことができませんでした。

本学では、学位に対応する教育プログラム（「学位プログラム」）を編成する一方、「学生の所属する教育組織」（本学では「学術院・研究群」）と「教員が所属する教員組織」（本学では「系」）とを分離しました。教員は、学位プログラムではなく、研究群の専任教員と位置づけられることとなりますので、今後は、社会の変化等に応じて、新しい学位プログラムをつくったり、ニーズのなくなった学位プログラムを再編したりすることが容易になります。また主担当の学位プログラム以外に、副担当として他の学位プログラムの授業および研究指導を担当できますので、専任教員が各々の専門性を活かして学位プログラムを越えて協働し、学生の指導に当たることができるようになります。

4. 人文社会科学研究群

「人文社会科学研究群」は、人や社会の営み、人と社会の関係の考察・分析に係わる人文社会科学の基礎研究において優れた能力を有し、学問の進展や社会的要請の変化に応じて人類の知の継承に貢献し得る人材、またグローバル化の進展に伴う地球規模の課題や社会的課題に果敢に挑戦し、人間の存在や人と社会との関係の望ましいあり方を構想しうる独創性と柔軟性をあわせもつ研究者・教育者、および高い専門性と実務能力を有する職業人を養成することを目的としています。本研究群には、次の3つの学位プログラムがあります。

(1) 人文学学位プログラム（区分制博士課程）

「人文学学位プログラム」は、人文学を取り巻く環境の変化やグローバル化に伴う社会の変化に対応するため、哲学、倫理学、宗教学、歴史学、人類学、文学、言語学、文化学、英語教育学などの人文学諸分野における優れた専門的知識を身につけるとともに、地球規模の新たな問題の発見と解決をめざし、専門の異なる人々と共同して問題解決に貢献できる人材を育成することを目的としています。

人文学学位プログラムは、従来の一貫制博士課程の

哲学・思想専攻、歴史・人類学専攻、文芸・言語専攻、および区分制博士課程の現代語・現代文化専攻を統合し、哲学・思想、歴史・人類学、文学、言語学、現代文化学、英語教育学の6つのサブプログラムが存在していますが、それらを横断的・融合的に人文学として構築しようとするものです。

授与される学位は、修士（文学）・博士（文学）です。

(2) 国際公共政策学位プログラム（区分制博士課程）

「国際公共政策学位プログラム」は、国際関係論や地域研究、社会学、政治学、経済学、人類学、公共政策学など国際公共政策に関わる各分野の高度の専門性と、それらを横断する学際性とを備えた教育と研究指導を通じて、専門知識を基盤とし、グローバル化、複雑化する現代の国際問題や個別地域の諸問題、また社会・文化問題へと柔軟に適用できる研究能力と、それらを公共政策へと導く実践的問題解決能力を身につけた人材を育成することを目的としています。

国際公共政策学位プログラムは、従来の区分制博士課程の国際公共政策専攻、および修士課程の国際地域研究専攻を統合し、各研究分野の専門性を結集し、学際的融合に基づく公共政策志向の教育を行おうとする

ものです。

授与される学位は、修士（国際公共政策）・博士（国際公共政策）です。

(3) 国際日本研究学位プログラム（区分制博士課程）

「国際日本研究学位プログラム」は、人文科学、社会科学、日本語教育学の専門的かつ国際的な学識を身につけ、グローバル化する現代社会の中で国際的・学際的・比較的な視野のもとで日本の文化・社会について

て研究し、海外にも発信することのできる人材を育成することを目的としています。

国際日本研究学位プログラムは、人文科学と社会科学の分野融合型・領域横断型の体系的な日本研究を行う区分制博士課程の国際日本研究専攻を母体としています。

授与される学位は、修士（国際日本研究）・博士（国際日本研究）です。

5. 人文社会科学研究群の教育課程

本研究群は、「研究群共通科目」を置くとともに、各学位プログラムの博士前期課程において、授業科目を、基礎科目、専門基礎科目、専門科目に区分し、基礎的なものから専門的なものへと系統的に配置して、学生の履修に資するように編成しています。

基礎科目は、学問領域を超えて幅広い分野に共通する基礎的な知識・能力、人間性を涵養する科目であり、大学院共通科目、学術院専門基盤科目、研究群共通科目などから構成されています。専門基礎科目は、学位プログラムで対象とする専門分野および関連分野の基礎的な知識・能力を涵養する科目です。専門科目は、学位プログラムで養成する人材が持つべき能力を涵養する科目です。

「研究群共通科目」は、幅広い知識・教養・行動力を身につけさせるため、博士前期課程の学生を対象に開設しています。「修士論文合同演習」（1単位）は、学生が自らの研究を人文社会科学分野の中で位置づけるとともに学際的な研究を促すための必修科目です。この科目では、本研究群の博士前期課程1年次生を対象に、各学位プログラムから推薦された、優れた修士論文を提出した2年次生が研究発表を行い、質疑、意見交換を行い、実施後、課題を提出させます。同じ分

野のみならず、他分野の研究発表を聞き、議論を行うことによって、専門知識を深めるとともに、他分野における研究課題設定、解決方法を学ぶことによって、修士論文執筆に向けて研究力を高めるのみならず、自らの研究を人文社会科学分野において位置づけ、さらには学際的な研究への発展を企図しています。「研究法入門」（1単位）は、人文社会科学に共通する研究倫理や情報倫理について修得するとともに、研究者に求められる基本的態度や情報リテラシー、論文作成法、研究者・高度専門職業人としてのキャリアについて考えるための科目です。日本語を理解しない留学生に対しては、英語で Academic Writing and Research Ethics（1単位）を開講します。本研究群の博士前期課程の学生は、いずれかの科目を選択して必ず履修しなければなりません。このほかに研究群共通科目として、「人文社会科学のためのグラントライティング入門」「人文社会科学のためのインターンシップ(1)、(2)」を選択科目として開講します。

博士後期課程は、博士論文完成のための研究指導を行います。最先端の知識と思考力を修得させるために必要な専門科目を配置しています。また大学院共通科目なども履修できるようにしています。

6. 海外との交流・留学生の受け入れ

筑波研究学園都市には、海外からの多くの研究者が滞在し、活発な交流を行いながら研究活動を進めています。また国際会議の開催も多く、最先端の研究動向を把握するための環境が大変よく整っています。

本学では、多くの国から留学生（国費、私費）を広

く受け入れ、学群生（学士課程）を含めて約2,300名（全学生に占める留学生比率は約14%）が学んでいます。学位を取得する留学生の数も増加してきています。なお、留学生のための語学研修や、個人チューターの制度も充実しています。

7. 公共経営履修モデル（国際公共政策学位プログラム・博士前期課程）

国際公共政策学位プログラムでは、人文・社会系学部出身の社会人で、企業人として現場に活かせる知識を学びながら、学部で積み上げた専門知識をさらに深めて修士論文にまとめ、修士の学位を取得することを目指す人を受け入れます。

具体的には、人文・社会系学部を卒業して社会に出て職を有した人が、在職したまま大学院に入学し、ビジネス科学研究群の科目（夜間・土曜開講）を10単位以内、学術院共通専門基盤科目を1単位以上履修し、筑波キャンパスで休業期間などを生かして論文指導科目等を中心に学修し、「修士（国際公共政策）」の学位取得を目指す履修モデルです。東京を勤務地とする者

を主たる対象として、企業人として現場に活かせる知識、たとえば経営や法律を学びながら、学部で積み上げた政治学・国際関係分野の専門知識をさらに深めて修士論文にまとめ、修士（国際公共政策）の学位を取得することを目指します。

図書館・情報処理などの施設は、東京キャンパス文京校舎に置かれる大学附属の大塚図書館（文京校舎 B1F）や東京サテライト（文京校舎 4F454）などを利用することができます。また論文指導は、日常的には電子メールや Skype を利用するなどして、学生の負担をできるだけ少なくします。

人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学群 国際公共政策学位プログラム（博士前期課程） 公共経営履修モデル

養成する人材像	国際公共政策に関わる分野に関する専門知識を生かし、理論・実証に関わる論理的思考力・分析力に基づいた高度な研究能力を踏まえ、国内外の政治経済や社会政策上の諸問題、また個別地域や国際関係に関わる諸問題に関し、公共政策へと結びつける観点から問題解決能力・実践的能力を有し、かつ経営学の専門知識および論理的に深く思考する能力やその内容を論理的に構成するための能力も併せ持つ人材。							
修了後の進路	有職者の一部は、博士後期課程への進学や、官公庁・自治体職員、国際機関職員、民間企業、NGO・NPO などへの転職をすることが考えられる。							
年次・学期 科目区分	1年次			2年次			取得 単位数	
	春学期		秋学期	春学期		秋学期		
大学院共通科目	研究倫理	1					1	
学術院共通 専門基盤科目			トプレクチャーⅠ (ビジネス科学研究群開設)	1		トプレクチャーⅡ (ビジネス科学研究群開設)	1	
基礎科目 (研究群共通)	研究法入門	1	修士論文合同演習	1			2	
専門基礎科目	国際公共政策論	1					3	
	公共政策論 A	1						
	政策評価分析	1						
専門科目	経営戦略論 (ビジネス科学研究群開設)	1	技術経営論 (ビジネス科学研究群開設)	1	マーケティングサイエンス (ビジネス科学研究群開設)	1	比較政治学演習 B	1
	経営組織論 (ビジネス科学研究群開設)	1	組織変革 (ビジネス科学研究群開設)	1	消費者行動 (ビジネス科学研究群開設)	1	日本政治論演習 B	1
	マーケティングリサーチ (ビジネス科学研究群開設)	1	比較政治学演習 A	1	公共政策論 B	1	国際公共政策 リサーチワークショップ B	3
	比較政治学 A	1	日本政治論演習 A	1	比較政治学 B	1		
	現代政策過程分析 A	1			現代政策過程分析 B	1		
					国際公共政策 リサーチワークショップ A	3		
修得単位数	10		6		8		6	
	16			14			30	
授業科目以外の学修	指導教員による研究指導等		指導教員による研究指導、研究発表会における発表等		指導教員による研究指導、研究発表会における発表等		指導教員による研究指導、研究発表会における発表等	

1. Outline of the Degree Programs in Humanities and Social Sciences

The University of Tsukuba campus is located in the center of Tsukuba Science City, approximately 60 kilometers northeast of Tokyo. The Tsukuba Express Line (TX) links Akihabara and Tsukuba Stations in only 45 minutes, and the highway bus connects Tokyo Station and Tsukuba in 70 minutes.

The University of Tsukuba is a frontrunner in university reform in Japan. Japanese universities once tended to remain cloistered in their own specialized fields and alienated from their communities. Our university has made it its goal to create a flexible education and research structure in order to provide an environment that allows future leaders to realize their full potential and gives them the opportunities to develop their individuality and skills through education that is backed by cutting-edge and interdisciplinary research.

By reorganizing the existing five doctoral programs in the areas of humanities and social sciences and adding a newly-organized program, the Graduate School of Humanities and Social Sciences was inaugurated in AY 2001, and reformed in AY 2008 and AY 2015. The integration of a wide range of fields in the humanities and social sciences was one of the notable characteristics of our Graduate School. Through such reformation, we have renewed and substantiated the former systems in order to meet the needs of social changes and academic development.

Our university has decided to fully convert the whole master's and doctoral courses to degree programs. Our new degree programs, different from existing master's and doctoral courses, are competency-based education programs. They are designed to guarantee that the students have gained sufficient competencies as holders of graduate degrees at the time of the endowment. Each degree program has its diploma policy, curriculum policy, and admission policy, and specifies the competencies the students are required to attain. The competences are grouped into two areas: generic competences and specific competences.

Graduate students belong to educational organizations, the Graduate School and the Degree Program, while professors, etc. belong to research organizations called "faculties" and are in charge of educational organizations. Graduate students will be able to acquire a wide range of knowledge through the classes taught by various faculty members belonging to the research organizations. The cooperation between educational and research organizations extends the possibilities of learning.

The Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences integrates both of the Graduate School of Humanities and Social Sciences and the Graduate School of Business Sciences in AY 2020. It is comprised of the Degree Programs in Humanities and Social Sciences in Tsukuba Campus and the Degree Programs in Business Sciences in the Tokyo Satellite Campus.

The Degree Programs in Humanities and Social Sciences offer the following three programs: Master's and Doctoral Programs (2 years and 3 years) in Humanities, International Public Policy, and International and Advanced Japanese Studies. Each program offers a Master of Arts or a Doctor of Philosophy in Humanities, International Public Policy, and International and Advanced Japanese Studies.

The new Degree Programs in Humanities and Social Sciences aim to produce researchers, educators, and highly-skilled professionals with excellent research abilities in the humanities and social sciences who are also creative and flexible enough to cope with academic developments and changing social demands.

2. International Exchange and International Students

Many overseas researchers reside in Tsukuba Science City and conduct exchange research programs while engaging in active exchanges. International conferences are held in various fields in the city every year. International exchange being of great help to grasp the most up-to-date research information is a sort of everyday experience in this city.

The University of Tsukuba actively accepts students from overseas as Japanese government (MEXT) scholarship students and privately-financed international students. The total number amounts to 2,300 including undergraduate students and non-degree research students. The number of international students who complete the doctoral degree increases every year. Some welfare services are provided to meet the needs of international students. Japanese classes are available for international students, and a tutor is assigned to every international student on demand.

入試・取得学位について

Admission
and Degrees

人文社会ビジネス科学学術院／人文社会科学研究群

学位プログラム	サブプログラム	定員	7月実施	10月実施	1-2月実施	学位名
人文学学位プログラム (博士前期課程)	哲学・思想	54	推薦		一般	修士(文学)
	歴史・人類学					
	文学					
	言語学					
	現代文化学					
	英語教育学					
人文学学位プログラム (博士後期課程)	哲学・思想	42			一般	博士(文学)
	歴史・人類学					
	文学					
	言語学					
	現代文化学					
	英語教育学					
国際公共政策学位プログラム (博士前期課程)		51	推薦	一般		修士(国際公共政策)
国際公共政策学位プログラム (博士後期課程)		10			一般	博士(国際公共政策)
国際日本研究学位プログラム (博士前期課程)		34		一般	一般 社会人特別	修士(国際日本研究)
国際日本研究学位プログラム (博士後期課程)		14	推薦	一般	一般 社会人特別	博士(国際日本研究)

Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences Degree Programs in Humanities and Social Sciences

Program	Subprogram	Number of Students to be Admitted	July Selection	October Selection	January to February Selection	Academic Degree
Master's Program in Humanities	Philosophy	54	Special Selection for Recommended Applicants		General Selection	Master of Arts in Humanities
	History and Anthropology					
	Literature					
	Linguistics					
	Modern Culture Studies					
	English Language Education					
Doctoral Program in Humanities	Philosophy	42			General Selection	Doctor of Philosophy in Humanities
	History and Anthropology					
	Literature					
	Linguistics					
	Modern Culture Studies					
	English Language Education					
Master's Program in International Public Policy		51	Special Selection for Recommended Applicants	General Selection		Master of Arts in International Public Policy
Doctoral Program in International Public Policy		10			General Selection	Doctor of Philosophy in International Public Policy
Master's Program in International and Advanced Japanese Studies		34		General Selection	General Selection Special Selection for Working Individuals	Master of Arts in International and Advanced Japanese Studies
Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies		14	Special Selection for Recommended Applicants	General Selection	General Selection Special Selection for Working Individuals	Doctor of Philosophy in International and Advanced Japanese Studies

研究群全体に開かれたプログラム (Special Program)

日本語教師養成プログラム

国内外において日本語を必要とする人が増えています。本プログラムでは日本語の教育方法のみならず、教育実習、教材開発、評価などの実践的知識を提供し、コース運営能力の育成、教育能力を養成するものです。人文社会科学研究群の所属学位プログラムの修了要件を満たし、かつ所属の学位プログラムおよび指導教員の承諾を得たうえで、当プログラムの要件を満たした場合、人文社会ビジネス科学学術院において「日本語教師養成プログラム修了証明書」が交付されます。国際日本研究学位プログラム（博士前期課程）が運用しています。

Outline of the Japanese Language Teacher Training Program

The number of people who need Japanese language proficiency is increasing both within and outside Japan. The Japanese Language Teacher Training Program provides practical knowledge concerning teaching materials and evaluation besides education methods focusing on the Japanese language. It trains students in course management skills and educational skills. If completion requirements of the affiliated major in the Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences are fulfilled, and if the student's academic program and the main advisor grant permission, a "Japanese Language Teacher Training Program Completion Certificate" will be granted upon completion of the program. The program is run by the Master's Program in International and Advanced Japanese Studies.

研究群の英語プログラム (Special Programs in English)

人文社会科学研究群国際公共政策学位プログラムでは、留学生等に対応した英語プログラムを開設しています。

経済・公共政策プログラム

Program in Economic and Public Policy (PEPP)

PEPP (Economic Policy and Public Policy Courses for WB/ADB Scholarship Fellows)

Established in 1995, the program is designed for young professionals in developing and transition economies. Currently, we offer a Course in Economic Policy, taught in English leading to a Master of Arts in International Public Policy. The course, starting in October every year, consists of three semesters lasting 1.5 years. Scholars selected for the program are supported by the World Bank Graduate Scholarship Program (JJ / WBGSP) or the Asian Development Bank-Japan Scholarship Program (ADB-JSP).

PEPP (Course in Economic Policy for MEXT Scholarship Fellows and other students including self-funded students)

PEPP's Course in Economic Policy is a high-quality English-language economics program open to all students (including Japanese) regardless of nationality and funding source. The curriculum for this course is identical to the Course in Economic Policy described in the PEPP (WB/ADB Scholarship Fellows) Course. This course is also suitable for Japanese Government (MEXT) Scholarship candidates who have already passed the Embassy Recommendation procedures for the MEXT scholarship and current MEXT Scholarship students are particularly encouraged to apply for this track.

JDS 公共政策特別プログラム

Special Program in Public Policy (JDS)

This program aims to contribute to the betterment of young public officials from Asian countries in the field of public policy. The program is designed for recipients of the “Japanese Grant Aid for Human Resource Development Scholarship (JDS)” offered by the Japan International Cooperation Agency (JICA) and the “Japan Human Resource Development Scholarship for Chinese Young Leaders (JDS China)” offered by the Ministry of Foreign Affairs. The program starts in the fall semester (October) and is designed to enable students to obtain a Master of Arts in International Public Policy in 18 months.

日本・ユーラシア研究プログラム

Special Program in Japanese and Eurasian Studies (SPJES)

This program is designed for training people who can solve various problems and issues related to sustainable development in Central Asian states. This is a graduate program offering students from Kazakhstan, Uzbekistan, Kyrgyzstan, Turkmenistan, Tajikistan, and Azerbaijan an MA degree in 18 months. It is supported by the Nippon Foundation Central Asia Fellowship. Those applicants who demonstrate outstanding abilities will be awarded full scholarships from the Nippon Foundation (up to 10 scholarships per year).

アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ

African Business Education Initiative for Youth (ABE)

The objective of the ABE Initiative master's degree and internship program is to support young personnel who have the potential to contribute to the development of industries in Africa. This program offers opportunities for young African men and women to enroll in master's courses in Japanese universities as international students and experience internships at Japanese enterprises.

哲学・思想サブプログラム

Master's and Doctoral Programs in Humanities (Subprogram in Philosophy)

The research and education in the Subprogram in Philosophy (master's program and doctoral program) encompass the three areas of philosophy, ethics, and religion.

Philosophy falls roughly into three approaches: Western philosophy, Eastern philosophy, and Scientific philosophy (including Contemporary philosophy), however, these have a common ground intended to cultivate the power to clarify a wide variety of issues, considerable intellect, and outside-the-box ability to come up with conceptual ideas.

Ethics has two centers: the history of ethical thought as "history" and ethics as "knowledge". The former covers modern and contemporary western ethical thought and the latter includes hermeneutics, historical philosophy, anthropology, ethical theory, rights theory, normative theory, political philosophy, and communication theory, however, the right interpretation of the history of ethical thought and profound interpretation of human existence are required in all cases.

Religion is comprised of religious studies and Indian and Buddhist studies, however, it allows students to learn about methods and theories of religious research and various religious phenomena extensively from all sides. The field of religion also conducts research and fieldworks from traditional religions including Buddhism and Christianity to new religions, relationship between religion and society, religious thought, etc. through methods of the science of religion, history of religion, sociology of religion, philosophy of religion, etc. The field of Indian and Buddhist studies explores various thinking on Indian thought and Buddhism grounded in refined literature study.

Students in the master's program will take up courses for prescribed credits across two or more areas in major subjects offered in the 3 areas discussed above, in addition to learning mindset and facilitation techniques for productive dialogue and discussion in "Philosophical Practice", a compulsory general foundation subject. Under certain conditions as needed, it is also possible to take up major subjects in other degree programs and subprograms. Students also select their main academic advisor from any of the research areas mentioned above depending on their interest, advance their own research under the supervision of their advisor, and write their thesis to get a master's degree. Furthermore, after consulting with their main academic advisor, students can select their co-advisor irrespective of the research area and receive guidance. Students in the doctoral program are intent to write their dissertation to get a doctoral degree under the supervision of their main academic advisor through "Doctoral Dissertation Seminar in Philosophy" and other subjects with the guidance of their co-advisor in addition to practicing their presentation with a focus on the common "Seminar in Presentation Skills". Experience in presenting papers on the results of their studies at academic conferences, etc. and posting articles in academic journals of their specialized field in the process is also a condition for their thesis submission to get a doctoral degree.



哲学・思想サブプログラム（博士前期課程／博士後期課程）における研究教育は、哲学・倫理学・宗教学という3つの分野にわたります。

哲学分野には、大別して西洋哲学、東洋哲学、科学哲学（現代哲学を含む）の3つのアプローチがありますが、これらはどれも問題を明確に設定する力や強靱な思考力、独創的な構想力の涵養を目指している点で共通しています。

倫理学分野は「歴史」としての倫理思想史と「学」としての倫理学を二つの軸としています。前者は近代

と現代の西洋倫理思想をカバーし、後者は解釈学、歴史哲学、人間論、道徳論、権利論、規範論、政治哲学、コミュニケーション論を含みますが、何れにおいても、思想史の正しい解釈と人間存在の深い理解が求められます。

宗教学分野は宗教学とインド学・仏教学から成っていますが、どちらにおいても幅広く宗教研究の方法や理論、多様な宗教現象について学ぶことができます。宗教学の領域では、仏教、キリスト教などの伝統宗教をはじめとし、新宗教、宗教と社

会の関係、宗教思想などを、宗教学、宗教史学、宗教社会学、宗教哲学等の方法によって研究するほか、フィールドワークも行います。インド学・仏教学の領域では、精緻な文献研究を基礎として、インド思想や仏教を軸に様々な思想を研究します。

前期課程の学生は、必修の専門基礎科目「哲学プラクティス」において生産的な対話と議論のためのマインドセットとファシリテーションの技法を学ぶほか、上記の3分野に分けて開設される専門科目を2つ以上の分野にわたって所定の単位、選択

履修します。必要に応じて一定の条件の下、他の学位プログラム、サブプログラムの専門科目を履修することも可能です。また自分の関心に応じて上記の何れかの研究分野から主指導教員を選び、その指導の下で研究を進め、修士学位請求論文を執

筆します。さらに主指導教員と相談の上、副指導教員を研究分野に関係なく選び、その指導を受けることができます。後期課程の学生は、共通の「プレゼンテーション演習」を中心にプレゼンの訓練をするほか、「論文執筆演習」などを通して主指導教

員の指導の下、副指導教員の指導も受けつつ、博士学位請求論文の執筆に努めます。また、その過程で各自の専門領域の学会等における研究発表と学術雑誌への論文掲載の経験を積むことが博士学位請求論文提出の条件となっています。

哲学 Philosophy

井川義次	IGAWA, Yoshitsugu	中国哲学	Chinese Philosophy
津崎良典	TSUZAKI, Yoshinori	フランス哲学	French Philosophy
橋本康二	HASHIMOTO, Kouji	分析哲学	Analytic Philosophy
檜垣良成	HIGAKI, Yoshishige	ドイツ近代哲学	German Modern Philosophy
横山幹子 [※]	YOKOYAMA, Mikiko	分析哲学	Analytic Philosophy

倫理学 Ethics

五十嵐沙千子	IGARASHI, Sachiko	倫理学、現代思想	Ethics, Modern Ethical Thought
千葉 建	CHIBA, Ken	倫理学、西洋近代倫理思想史	Ethics, History of Modern Western Ethical Thought

宗教学 Study of Religions

小野 基	ONO, Motoi	仏教学、インド哲学	Buddhism, Indian Philosophy
木村武史	KIMURA, Takeshi	宗教学、神話と儀礼	History of Religions, Myths and Rituals
志田泰盛	SHIDA, Taisei	インド哲学	Indian Philosophy
土井裕人 [※]	DOI, Hiroto	宗教学、人文情報学	Study of Religions, Digital Humanities
保呂篤彦	HORO, Atsuhiko	宗教学、宗教哲学	Religious Studies, Philosophy of Religion
吉水千鶴子	YOSHIMIZU, Chizuko	インド・チベット仏教思想学	Indian and Tibetan Buddhist History of Thought

※印の者は、指導教員に指名できません (The faculty members with ※ refer to professors offering classes only.)

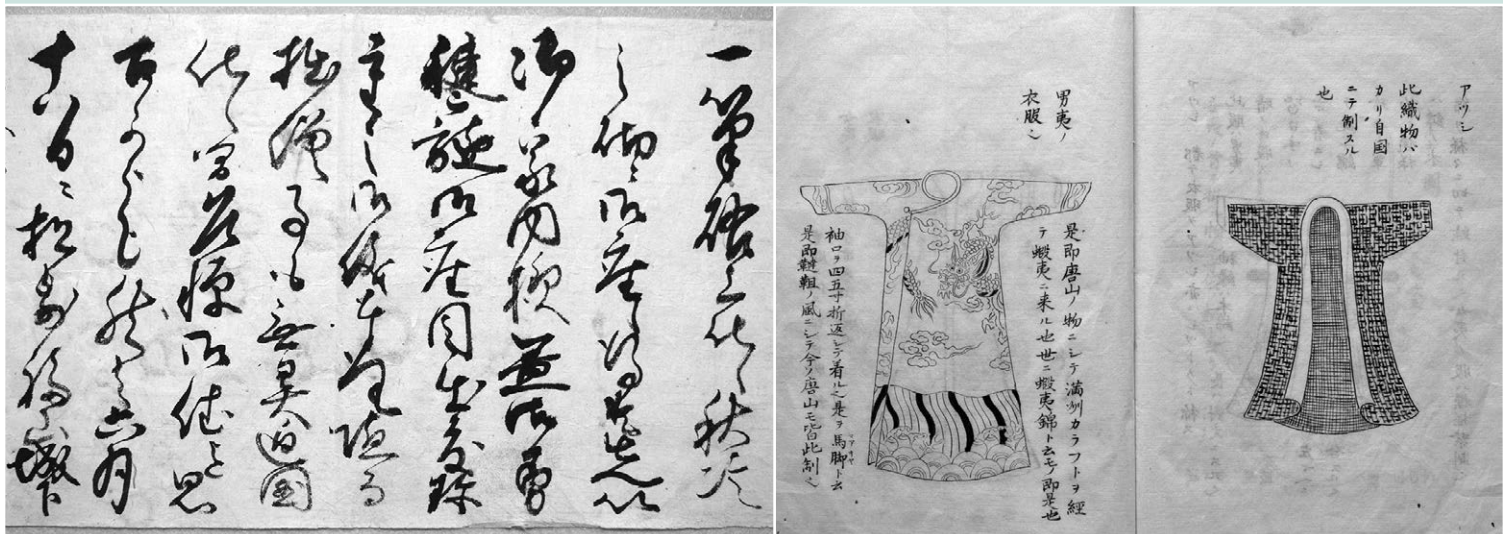
歴史・人類学サブプログラム

Master's and Doctoral Programs in Humanities (Subprogram in History and Anthropology)

The Subprogram in History and Anthropology provides master's and doctoral degree programs, consisting of six majors: Japanese History, Oriental History, Western History, Historical Geography, Prehistory/Archaeology and Folklore/Cultural Anthropology with about twenty faculty members (more details are available at our website).

Graduate students will select one of the above majors and receive in-depth education and training in a specialized study area, as well as develop their wider range of interests in other related subjects. Each course provides coursework and tutorials related to the specialized research fields. The weekly lectures and seminars are to learn core concepts, theories and methods, as well as expertise. In the tutorials, students present their research progress and obtain feedback to develop their research plan or dissertation. Some of the research fields provide practical field training. Students are also encouraged to attend the lectures provided by other courses or subprograms according to their own research interests.

In addition to completing their coursework, students are encouraged to write academic papers and have conference presentations, and will be promoted, through the completion of master's and doctoral dissertations, to versatile researchers, educators, or highly-skilled professionals, who are creative and flexible enough to cope with academic and social demands.



歴史・人類学サブプログラムについて

本サブプログラムは、歴史学と人類学における基盤研究および専門領域研究を深化させることを目的に、博士前期課程と博士後期課程のカリキュラムを設置しています。歴史学分野では日本史学、東洋史学、西洋史学と歴史地理学を、人類学分野では先史学・考古学と民俗学・文化人類学をそれぞれ専門領域として含んでいます（詳細は本サブプログラムのホームページを参照）。

大学院生は、いずれかの専門領域に所属し、文献研究やフィールドワークを経て、その研究分野におけ

る基盤的研究手法を修得するとともに、今日の研究状況に対応し学界を先導し得る先端的研究視点と方法を身につけます。サブプログラムを構成するいずれの分野も、多様な時代と地域を場とする人間の営みそのものを重視したカリキュラムを組んでおり、科目履修にあたっては、各専門領域を超えて広い視野に立った学問を築くために、他分野の単位も取得するように指導しています。

授業の履修はもとより、学会誌への論文投稿や学会発表、そして修士論文・博士論文の執筆を通じて、独

創性と高度な研究能力を備えた学究型の研究者・教育者、ならびに、研究成果を社会に還元できる実践型の高度専門職業人を養成することを目的としています。

歴史学 History

伊藤純郎	ITO, Junro	日本地域社会史（近代・現代史）	Local and Social History of Modern Japan
田中 友香理	TANAKA, Yukari	日本思想史（近代史）	Intellectual History of Modern Japan
中野目 徹	NAKANOME, Toru	日本思想史（近代史）	Intellectual History of Modern Japan
朴 宣美	PARK, Sunmi	日本文化交流史（近代・現代史）	History of Cultural Exchanges of Modern Japan
三谷芳幸	MITANI, Yoshiyuki	日本法制史・経済史（古代史）	Legal-Economic History of Ancient Japan
山澤 学	YAMASAWA, Manabu	日本宗教社会史（近世史）	Socio-Religious History of Early Modern Japan
岩田啓介	IWATA, Keisuke	内陸アジア政治史	Political History of Inner Asia
上田裕之	UEDA, Hiroyuki	中国政治経済史	Political-Economic History of China
丸山 宏	MARUYAMA, Hiroshi	中国宗教社会史	Socio-Religious History of China
山本 真	YAMAMOTO, Shin	中国近現代史	Modern History of China
佐藤千登勢	SATOH, Chitose	アメリカ現代史	Modern American History
柴田大輔	SHIBATA, Daisuke	楔形文字学（古代メソポタミア史）	Assyriology
津田博司	TSUDA, Hiroshi	イギリス帝国史	History of the British Empire
村上宏昭	MURAKAMI, Hiroaki	ドイツ社会史（近代・現代史）	Social History of Modern Germany
山田重郎	YAMADA, Shigeo	古代西アジア史	History of the Ancient Near East (Assyriology)
中西僚太郎	NAKANISHI, Ryotaro	歴史地理学（日本・アジア）	Historical and Cultural Geography (Japan and Asia)

人類学 Anthropology

前田 修	MAEDA, Osamu	考古学（西アジア）	Archaeology of the Near East
滝沢 誠	TAKIZAWA, Makoto	考古学（日本）	Archaeology of Japan
谷口陽子	TANIGUCHI, Yoko	考古学（文化財科学）	Archaeological Science and Conservation Science
三宅 裕	MIYAKE, Yutaka	先史学（西アジア）	Prehistory of the Near East
木村周平	KIMURA, Shuhei	文化人類学（トルコと日本・災害・科学技術）	Cultural Anthropology (Turkey and Japan, Disaster, Technology)
武井基晃	TAKEI, Motoaki	日本民俗学（社会伝承論）	Folklore (Japan and East Asia)
徳丸亜木	TOKUMARU, Aki	日本民俗学（信仰伝承論）	Folklore and Folk Religion (Japan)
中野 泰	NAKANO, Yasushi	日本民俗学（社会構成論）	Folklore (Japan and East Asia)

文学サブプログラム

Master's and Doctoral Programs in Humanities (Subprogram in Literature)

Our Aim

The literature sub-program is devoted to the academic study of literature and related fields within the Humanities. It seeks to educate its students, and to develop their intellect and academic skills.

Under the guidance of esteemed specialists, the graduate students of this sub-program are encouraged to pursue their own academic interests while gaining a broader perspective. Studying in this sub-program, students will acquire the intellectual skills necessary for academic/educational vocations and non-academic fields.

What you can do

Students can research various national and regional literatures, such as Japanese Literature, Chinese Literature, Anglophone Literature, Francophone Literature, Slavic Literature, and Classic Literature in Greek and Latin. They can also pursue interdisciplinary scholarship such as comparative literature, translation studies, literary theory, film studies, interculturalism and adaptation.

One of the main goals of this sub-program is to integrate various new academic fields in literary and cultural studies. For this reason, there are no sectional sub-divisions within the program.

Curriculum and Support

In the Master's program, students will learn about the basics of literary and cultural studies by taking three "compulsory general foundation subjects" classes. "Major subjects" include classes taught in English, team-taught classes, and required classes aiming to prepare students to write their dissertation.

In the Doctoral program, instruction is customized to the student's specific interests and needs, and the student's main advisor cooperates with other professors for that purpose. Students are encouraged to obtain their PhD within three years.

There is also generous support for academic events, conferences, and research activities abroad.



文学サブプログラムでは、文学および多様な表現文化を対象とした研究教育をおこない、すぐれた探究力をもつ高度な知的人材を養成することを目的としています。

所属する大学院生は、卓越した専門研究者の指導のもと、各自の関心を活かして学術的知見を深化させるとともに、広い視野を養いながら、独自の研究活動を展開させることが求められます。本サブプログラムは、研究・教育者をめざす学生も、一般社会での活躍を目指す学生も、それぞれが必要とする高い知的能力を身に付けることができる場として設計されています。

学修できる専門内容としては、日本文学・中国文学・英文学・フランス文学・スラブ文学・ギリシア＝ラテン古典文学といった各国／各言語圏の文学や文化の研究に加え、比較文学・翻訳研究・文学理論・映画研究といった領域横断的な研究があります。また文化関係学やアダプテーション研究といった新たな領域も扱われており、研究の多様性の広がりに対応しています。

このように拡張していくさまざまな研究領域の間の有機的な総合を図っていくことも、本サブプログラムの目標の一つです。そのため「分野」の仕切りは設けられていません。

博士前期課程では、専門基礎科目3科目を通じて文学研究方法の基礎を学ぶことができます。専門科目では、英語による授業、複数の教員が関わる発表形式の授業、また、修士論文の執筆に向けた必修授業も用意されています。

博士後期課程では、指導教員を中心とした複数の教員により、各学生に応じてカスタマイズされた研究指導を受け、3年間での博士号取得を目指します。

研究会や学会、海外での研究活動に対する積極的な支援制度もあります。

文学 Literature

- 青柳悦子 AOYAGI, Etsuko 文学理論 (とくにフランス系)、北アフリカ文学 Literary Theory and North African Literature
- 秋山 学 AKIYAMA, Manabu 古典古代学、地中海学 Classical Studies and Mediterranean Studies
- 小川美登里 OGAWA, Midori フランス現代文学 Modern French Literature
- 加藤百合 KATO, Yuri 比較文学、スラヴ文学 Comparative Literature and Slavic Literature
- 稀代麻也子 KISHIRO, Mayako 中国六朝文学 Chinese Literature, Literature of Six Dynasties
- 齋藤 一 SAITO, Hajime 文学理論、イギリス文学 Literary Theory, English Literature
- 佐野隆弥 SANO, Takaya イギリス・初期近代文学 Early Modern English Literature
- 谷口孝介 TANIGUCHI, Kosuke 日本古代文学、和漢比較文学 Ancient Japanese Literature, Wakan Comparative Literature
- 馬場美佳 BABA, Mika 日本近現代文学 Modern Japanese Literature
- ヘーゼルハウス HESELHAUS, Herrad 文学・文化関係学、越境文学、文学理論 Relational Studies in Literature and Culture, Transnational Literature, Literary Theory
- ヘラト
- 増尾弘美 MASUO, Hiromi フランス現代文学 Modern French Literature
- 吉原ゆかり YOSHIHARA, Yukari 文化研究、イギリス文学 Cultural Studies and English Literature
- 吉森佳奈子 YOSHIMORI, Kanako 日本中古文学 Ancient Japanese Literature
- ラフォンテーヌ LAFONTAINE, Andrée 北米映画、文化研究 Film Theory and Cultural Studies
- アンドレー

言語学サブプログラム

Master's and Doctoral Programs in Humanities (Subprogram in Linguistics)

The Subprogram in Linguistics is intended to foster human resources with insight, originality, and research ability related to individuality and universality of language beyond individual linguistics and various differences in methodology. For this purpose, a system with the vast learning of individual linguistics and methodology was adopted without setting up traditional courses by language. Furthermore, the system not only deepens and improves basic research but also allows students to gain knowledge and ability on applied research and fosters human resources who can be active in education or other areas.

To meet this purpose, the master's program has a group of subjects to learn the basics of linguistic research including "Linguistic Theory" and "History of Linguistics", group of subjects to learn the methodology of linguistics research including "Generative Syntax" and "Contrastive Linguistics", group of subjects to learn the analysis of individual languages including Japanese linguistics, English linguistics, German linguistics, and Chinese linguistics, and group of subjects to learn the applicative aspect of linguistic research including "Studies in Japanese Language Education for Non-Native" and "ICT Literacy in Linguistic Research". Taking these in a balanced manner under the supervision of a group of academic advisors reinforces knowledge on the individuality and universality of language. Class exercises to give guidance of master's thesis writing by year and training to give supervision of workshop presentations, etc. are also provided and their research ability is developed to deepen their research themes.

The doctoral program makes it possible for students to write their doctoral dissertation steadily by taking up class exercises and training with a central focus on the guidance of doctoral dissertation writing and academic conference presentation.



言語学サブプログラムでは、各個別言語学、様々な方法論の違いを超えて、言語の個別性と普遍性に関する洞察力、独創性と研究能力を有する人材を養成することを目的としています。このため、従来のような言語ごとのコースなどを設けず、各個別言語学、方法論を幅広く学べるような体制をとっています。また、基礎的研究の深化・充実を図るだけではなく、応用的研究に関する知識、能力も身につけられるようにし、教育やその他の様々な分野で活躍できる人材の養成も行います。

このような目的に合わせ、前期課程では、「言語理論」「言語学史」などの言語研究の基礎を学ぶ科目群、「生成統語論」「対照言語学」などの言語研究の方法論等を学ぶ科目群、日本語学、英語学、ドイツ語学、中国語学といった個別言語の分析を学ぶ科目群、「日本語教育学」「言語情報論」などの言語的研究の応用的側面を学ぶ科目群を設けています。これらを指導教員グループの指導のもとバランスよく履修することで、言語の個別性と普遍性に関する知見を深めます。また、自身の研

究テーマを深めるため、修士論文の作成の指導を行う年次ごとの演習科目、研究会発表等の指導を行う実習科目を設け、研究能力の育成を行います。

後期課程では、博士論文の作成、学会発表等の指導を中心として、演習科目、実習科目を履修することで着実に博士論文が作成できるようにしています。

言語学 Linguistics

青木三郎	AOKI, Saburo	フランス文法論、日仏対照言語学	Grammatical Studies, Contrastive Studies of French and Japanese
池田 潤	IKEDA, Jun	セム語学、歴史言語学	Semitic Linguistics, Historical Linguistics
石田 尊	ISHIDA, Takeru	日本語学（文法論）	Japanese Linguistics
伊藤 眞	ITO, Makoto	日独対照語彙文化論	Comparative Lexical Studies of Japanese and German
臼山利信	USUYAMA, Toshinobu	スラヴ語学、言語政策論	Slavic Linguistics, Language Policy
大倉 浩	OKURA, Hiroshi	日本語学（日本語史）	Japanese Linguistics (History of Japanese)
大矢俊明	OYA, Toshiaki	ドイツ語文法論	Grammatical Studies of German
小野雄一	ONO, Yuichi	教育工学、CALL、言語処理	Educational Technology, Computer-Assisted Language Learning
加賀信広	KAGA, Nobuhiro	生成統語論、英語文法論	Generative Syntax, English Grammar
金谷 優	KANETANI, Masaru	構文文法、語用論	Construction Grammar, Pragmatics
金 仁和	KIM, In-hwa	韓国語学、対照言語学	Korean Linguistics, Contrastive Linguistics
佐々木勲人	SASAKI, Yoshihito	中国語学、対照言語学	Chinese Linguistics, Contrastive Linguistics
澤田浩子	SAWADA, Hiroko	日本語学、日中対照言語学	Japanese Linguistics, Comparative Studies of Chinese and Japanese
島田雅晴	SHIMADA, Masaharu	生成統語論、理論言語学	Generative Syntax, Theoretical Linguistics
杉本 武	SUGIMOTO, Takeshi	日本語学（構文論、意味論）、コーパス言語学	Japanese Linguistics (Syntax, Semantics), Corpus Linguistics
住大恭康	SUMIDAI, Yasunori	ドイツ語学（意味論・語用論）	German Linguistics (Semantics/Pragmatics)
田川拓海	TAGAWA, Takumi	日本語学、理論言語学（形態論、統語論）	Japanese Linguistics, Theoretical Linguistics
竹沢幸一	TAKEZAWA, Koichi	統語論、理論言語学、対照言語学	Syntax, Theoretical Linguistics, Comparative Linguistics
那須昭夫	NASU, Akio	日本語音韻論、理論言語学	Japanese Phonology, Theoretical Linguistics
沼田善子	NUMATA, Yoshiko	日本語学（文法論、意味論）	Japanese Linguistics
橋本 修	HASHIMOTO, Osamu	日本語文法論、意味論	Japanese Grammar, Semantics
廣瀬幸生	HIROSE, Yukio	英語学、意味論、語用論	English Linguistics, Semantics, Pragmatics
黄 賢暎	HWANG, Hyun Kyung	音声学	Phonetics
松崎 寛	MATSUZAKI, Hiroshi	日本語教育学、音声学	Teaching Japanese as a Second Language, Phonetics
宮腰 幸一	MIYAKOSHI, Koichi	理論言語学	Theoretical Linguistics
矢澤真人	YAZAWA, Makoto	日本語文法論	Japanese Grammar
柳田優子	YANAGIDA, Yuko	歴史言語学、生成文法理論、言語類型論、日本語学	Historical Linguistics, Generative Grammar, Language Typology, Japanese Linguistics
山村崇斗	YAMAMURA, Shuto	生成文法理論、統語論、ミニマリスト・プログラム	Generative Grammar, Syntax, Minimalist Program
和氣愛仁	WAKI, Toshihito	人文情報学、日本語文法論	Digital Humanities, Japanese Grammar
和田尚明	WADA, Naoaki	意味論、文法論	Semantics, English Grammar

現代文化学サブプログラム

Master's and Doctoral Programs in Humanities (Subprogram in Modern Culture Studies)

What kind of "knowledge" do we need in this "modern" period? In this "modern" age, we are witnessing drastic changes in all conceivable phenomena in this human world. Culture, art, politics, and economics are all transcending their boundaries. Living in such a dynamic time, we are now faced with two difficult questions: how do we perceive who we are and what we are and what should we do in order to find a way to live in peace and harmony with others from different cultural backgrounds?

Modern Culture Studies is a new, innovative academic field which studies a variety of issues relating to difficult but quite important questions like how to adopt flexible, creative ideas and approaches beyond existing disciplinary boundaries. The program aspires to reach the ultimate goal of creating new "modern knowledge" through research.

In order to achieve this goal effectively, the Modern Culture Studies program specifically engages in research of cultural phenomena from diverse approaches and provides students with various educational opportunities. Through these opportunities, students undergo essential training for their future careers as scholars or professionals in academic and business fields in Japan and all over the world.

To achieve these objectives efficiently, Modern Culture Studies is adopting an exceptional educational system, as shown below:

1. Students' ideas are highly respected as the core of their studies and learning.
2. Students are supported by more than one advisor.
3. Students are allowed to take classes from other programs to enhance their interdisciplinary learning.
4. Students are actively encouraged to make presentations on their own topics at both international and domestic conferences.
5. Studying abroad is strongly endorsed. Also, students from abroad are welcomed. An international environment created from students with different cultural backgrounds fosters students' interest in and understanding of other cultures.
6. Students' abilities are assessed and certified by the program's evaluation system from various viewpoints before they complete the whole course of study.

Modern Culture Studies is the perfect choice for students hoping to pursue extensive studies on cultural problems of modern times and seeking careers as professional scholars in academic fields or as business professionals in various social fields.



The Voyage of Life: Youth



Still Life with Books in a Niche

〈現代〉という時代は、私たちにどのような〈知〉を求めているのでしょうか？

私たちの生きる現代の世界においては、文化・芸術・政治・経済などのあらゆる事象が、既成のフロンティアを越え出てめまぐるしく流動しています。そのダイナミックな動きのなかで、私たちはどのようにみずからのありようを見定め、同時に、他と共に生きるための道を切り開くことができるでしょうか。

「現代文化学サブプログラム」は、

このような時代からの問いかけを真摯に受け止め、既成の学問枠にとられない自由な発想をもって問題を掘り起こし、さまざまな事象を分析・検討し、あらたな〈現代知〉の創成をめざすための深い専門知識の習得と汎用力の深化を目的としています。

この目的のため本サブプログラムは、従来の縦割り型の学問体系とは異なった、領域横断的な研究を通じて、時代のなかで私たちに問われている文化の問題を、個々の自由な視点から直視し考察を深め、その成果を、研究者としてまた社会の実践

的分野における高度な知識を備えた職業人として世界に発信できるような人材を育成することをめざしています。

この目的を達成するために本サブプログラムの教育体制は、次の点を特徴としています。

1. 学生の研究は、みずからの自由な発想を核とする。
2. 学生の研究を複数の教員で支える複数指導制をとる。
3. 学生の領域横断的研究を支えるため、他のサブプログラムが開設している授業の履修も支援する。

4. 学会での口頭発表や専門誌への論文投稿など、国内外での研究成果の公表を積極的に支援する。

5. 留学を推奨し、国内外の研究者との交流を支援する。

6. 修了時には、専門知識だけでなく、コミュニケーション能力や国

際性、汎用能力などの習得状況もあわせて評価する制度を設け、教育の質保証の実質化を担保する。

「現代文化学サブプログラム」は、〈現代〉の切っ先に露呈する文化的諸問題について、皆さん自身の視点

から研究し、深い知見を自分のものとして、専門領域における研究者、あるいは、社会の実践的分野における高度な知識を備えた職業人として、活躍することをめざす人のために用意されています。

現代文化学 Modern Culture Studies

畔上泰治*	AZEGAMI, Taiji	ドイツ語圏の青少年文化、文化政策	Germanophone Youth Culture, Cultural Politics
江藤光紀	ETO, Mitsunori	現代文化・芸術論（美術・音楽）	Modern Culture and Art (Fine Arts and Music)
佐藤吉幸 (佐藤嘉幸)	SATO, Yoshiyuki	フランス現代思想・社会理論	French Contemporary Thought, Social Theory
清水知子	SHIMIZU, Tomoko	文化理論・メディア文化論	Media and Cultural Studies
竹谷悦子	TAKETANI, Etsuko	アメリカ文学・文化	American Literature and Culture
対馬美千子	TSUSHIMA, Michiko	表象文化論・文学への思想的アプローチ	Studies of Representation, Philosophical Approach to Literature
中田元子	NAKADA, Motoko	19世紀イギリス文学・文化	19th-Century English Literature and Culture
濱田 真	HAMADA, Makoto	近現代ドイツ文化論	Studies of Modern German Culture
廣瀬浩司	HIROSE, Koji	フランス思想・現象学	French Philosophy and Phenomenology
馬籠清子	MAGOME, Kiyoko	音楽・文学研究・アメリカ文学	Musico-Literary Studies, American Literature
宮崎和夫	MIYAZAKI, Kazuo	スペイン史・スペイン文化研究	History of Spain, Spanish Cultural Studies
山口恵里子	YAMAGUCHI, Eriko	イメージ人類学、イギリス美術	Anthropology of Art, British Art
吉野 修*	YOSHINO, Osamu	文化表象論、フランス文学	Studies of Culture and Representation, French Literature

※博士前期課程のみ担当 (Professors with ※ teach only Master's courses.)

英語教育学サブプログラム

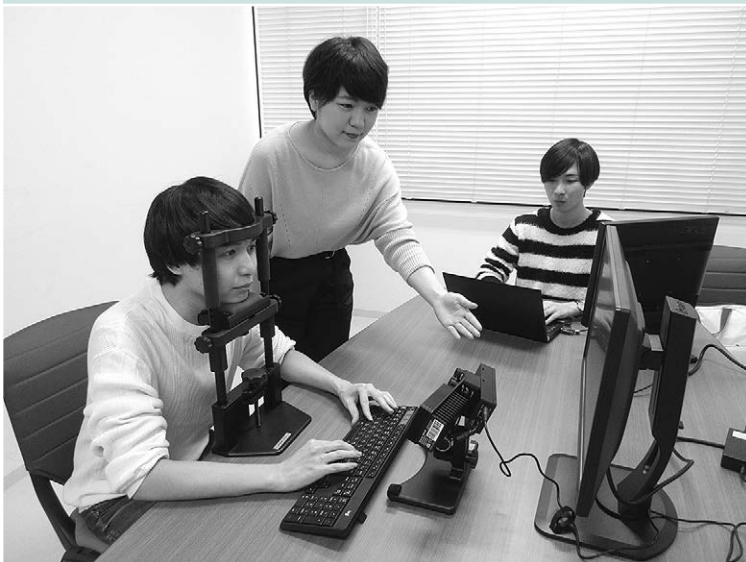
Master's and Doctoral Programs in Humanities (Subprogram in English Language Education)

Why Choose Us?

The Subprogram in English Language Education focuses on bridging the gulf between the practice and theory of English teaching. In our global world, there is a need for higher levels of English proficiency, and yet many people still struggle to use English in academic, pedagogical, or vocational environments. Our subprogram aims at developing effective, advanced teaching methods as well as formulating universal language theories by providing deeper insight into the mechanism of foreign language learning. Through such research, our subprogram aims to help students acquire the knowledge and competences they will need to tackle the problems they will face in a career in language teaching.

Selected PhD Dissertations (*The list includes those submitted to the previous program before reorganization.)

- Inferring and Learning EFL Vocabulary Using Morphological and Contextual Clues: Prefix Availability, Contextual Informativeness, and Learner Proficiency
- Effects of Providing Known Associates on Intentional Vocabulary Learning: Comparing Synonyms, Co-hyponyms, and Lexical Collocations
- The Flexible Lexical Inferencing Processes of Japanese EFL Learners: A Think-Aloud Study
- Processing and Interpreting Unknown Words With Morphological and Contextual Information Among Japanese EFL Learners: Focusing on the Semantic Transparency of Morphemes and Learner Proficiency
- Effects of Task Conditions on Spoken Performance in Retelling
- Generation of Knowledge-based Inferences in Japanese EFL Learners' Reading Comprehension
- Understanding Causal Relations and Learning From Text in Japanese EFL Readers
- Constructing Mental Representations of Textual Topic Structure Among Japanese EFL Readers



国内外を牽引する研究と伝統が1つに

英語教育学は、外国語としての英語の習得や指導に関して理論と実践を統合した学術的研究、および教室における指導者養成研究を行う分野である。

本学の人文社会科学研究科では英語教育研究者の養成を中心とする一方、教育研究科では高等学校英語教員を目指した実践的な人材育成を行ってきた。しかし、理論と実践の統合が求められる英語教育学においては、その区分が必ずしも明確ではない。学位プログラム化を機に、同じスタッフが指導してきた両研究科の英語教育学分野を統合することにより、より高い次元の大学院教育を目指す。

前期2年後期3年で博士号取得を目指す

人文社会科学研究科の英語教育学分野は、平成18年3月に前身である現代文化・公共政策専攻で初の博士号取得者を出して以来、この10年強で課程博士号29名、論文博士号1名、修士号46名を送り出してきた。現在は、20名の在籍生(後期課程10名、前期課程10名)を有している(2021年3月現在)。原則として修士号は前期2年で、博士号は後期3年で取得できるよう指導にあっている。

これまでに、大学専任教員32名をはじめとして、高等学校教員ほか多くの有為な人材を輩出してきた。各研究分野において一握りの極めて優秀な院

生だけが選ばれる日本学術振興会特別研究員への採用も22名を数え(DC1が12名、DC2が8名、特別研究員PD1名、海外特別研究員1名)、極めて高い採択率を誇っている。また、日本学術振興会育志賞受賞、英検研究助成入賞、教科書研究センター助成受賞、国内主要学会(全国英語教育学会、大学英語教育学会、外国語教育メディア学会、日本言語テスト学会など)での学会賞受賞、国際学会(英国応用言語学会)での最優秀ポスター発表賞などの受賞歴も誇る。

理論と実践の統合

現在社会が求めている実践力のある

英語教育学研究者、あるいは理論的な土台を持つ英語科教員を輩出するため、研究者養成教育と実践的な人材育成を統合し、本プログラム担当教員も積極的に理論と実践に関わり、その統合を学生と共に体感する。

授業実践を行うにあたっては、実践の根拠となるものを研究成果から導き、普遍の真理として一般化して説く必要がある。一方、研究においても、教室という実践現場における目的を見失わず、難しい理論や成果をやさしく噛み砕いて伝える努力が必要である。このように教室現場の実践から真摯に学んで理論を極め、かつ理論に裏付けされた確かな実践の提案が出来る人材を養成する。

育成を目指す人材像は、理論と実践に基づいた授業力と教材開発能力を有し、その基盤となる英語教育学における幅広いテーマの研究力、また研究指導能力を身につけた者。さらに、高度専門職業人としてのリーダーにふさわしい確かな英語力と授業力を有し、ICTも活用しながら英語教育学の高度な教員養成・研修を担う能力を身につけた者である。

課程修了後の進路としては、大学・短大・高専教員、研究所研究員、教

育行政職員、中学高等学校教員、各種テスト作成機関、教育関連会社などの専門職が開かれている。

修得すべき知識・能力は、以下の通りである。

(前期課程)

- ・学校内外の英語教育諸課題に、同僚と協働し、中心となって問題解決にあたる能力
- ・高度専門職業人としてのリーダーにふさわしい、確かな英語力と授業力
- ・教室内外の問題意識や課題を的確に把握し、自ら改善や解決を試みる力
- ・後期課程における研究者養成のための基礎的な研究能力

(後期課程)

- ・より高い資質を有する英語教員の養成・研修を担う能力
- ・理論と実践に基づいた授業力と教材開発能力
- ・基盤となる学問分野の研究推進力
- ・幅広い研究テーマの研究指導能力

理論と実践を統合するカリキュラム

本プログラムは、以下のカリキュラムをもとに、現職教員および英語教育への明確な意欲を有する者を対象に、英語教育学分野の高度な教員養成と研究者育成を目指す。

(前期課程)

- ・英語教育学IAB～XIIAB 研究と実践の土台となる理論を学ぶ。
- ・英文法研究I, II 授業実践の土台となる英文法を学ぶ。
- ・英語圏の文化・文学I, II 授業実践の土台となる文化文学を学ぶ。
- ・英語教育学演習I～XII 確かな英語力と授業力の修得を目指す。
- ・英語教育学研究IAB～IVAB 英語教育学の研究手法を学ぶ。
- ・英語教育学論文演習I, II 修士論文執筆を目指す。

(後期課程)

- ・英語教育学特別論文演習IAB～IIIAB 博士論文執筆を目指す。

なお、前期課程には14条対応科目を設け、後期課程は指導教官による論文演習のみとするなど、現職社会人が特定の時間または時期に講義・研究指導を受けることを可能とした。

主たる就職先・進路 (*旧組織である現代語・現代文化専攻言語情報分野のものを含む)

前期課程修了生：博士後期課程への進学、中高の英語教員、政府官庁など

後期課程修了生：大学教員など

英語教育学サブプログラム Subprogram in English Language Education

講義・研究指導担当 Faculty (Supervision & Lectures)

磐崎弘貞	IWASAKI, Hirosada	英語語彙・辞書学・内容言語統合学習	Vocabulary Research, Lexicography, CLIL
卯城祐司	USHIRO, Yuji	英文読解プロセス・教授法・言語習得	EFL Reading Comprehension, Teaching Methodology, SLA
平井明代	HIRAI, Akiyo	L2スピーキング・言語評価・教授法	L2 Speaking, Language Assessment, Teaching Methodology
小野雄一	ONO, Yuichi	(前期課程担当) 教育工学	CALL Educational Technology, Computer-Assisted Language Learning (Master's Program)
土方裕子	HIJIKATA, Yuko	L2リーディング・英語教育	L2 Reading, English Language Teaching

講義担当 Affiliated Faculty (Lectures)

前期課程：英語学関連

加賀信広 KAGA, Nobuhiro 柳田優子 YANAGIDA, Yuko 宮腰幸一 MIYAKOSHI, Koichi 山村崇斗 YAMAMURA, Shuto

前期課程：英語圏の文化・文学関連

中田元子 NAKADA, Motoko 竹谷悦子 TAKETANI, Etsuko 山口恵里子 YAMAGUCHI, Eriko 馬籠清子 MAGOME, Kiyoko
清水知子 SHIMIZU, Tomoko

国際公共政策学位プログラム

Master's and Doctoral Programs in International Public Policy

The Doctoral/Master's Program in International Public Policy consists of four major fields: International Relations, Sociology, Area Studies, and Public Policy. This program provides a comprehensive curriculum and research guidance to graduate students for their research capacity building through a professional as well as an interdisciplinary approach in each field. The program also aims to educate students by promoting and upgrading their research capacity to an international level and their practical knowledge for framing problems and finding solutions in the area of international public policy.

In the field of international relations, students will study international relations, international security, international law, the history of international relations, domestic politics and economics, diplomacy of each area and country such as the United States, Europe, Russia, Eastern Europe, China, and modern Japan. They will also explore the issues related to globalization, regional development, and migration based on field work.

The field of sociology will offer the opportunity to study social issues and cultural studies. Concretely, social issues include topics on medicine, education, family, regional problems, and deviancy while cultural studies focus on modern representational culture, knowledge, history, communication, organizations, cities, and sports.

The field of area studies aims to develop experts on a specific region and high-level professionals with broad perspectives, who are capable of taking the initiative to work and playing an active role in the arena of global contribution and international cooperation. We try to realize this goal through area studies, which requires an intrinsic and comprehensive understanding of a specific country and regional community.

The field of public policy conducts studies to provide analysis and evaluation of actual policies using theories, basic concepts, and approaches of economics, political science, law, etc. In particular, students will try to improve their policy planning skills and the ability to conduct analysis of the effectiveness of implementation and corresponding development policy challenges.



国際公共政策学位プログラムについて

本学位プログラムは国際関係分野、社会学分野、地域研究分野、公共政策分野から構成されています。本学位プログラムでは、各分野の高度な専門性および学際性を備えた教育と研究指導を通して、国際水準の研究能力や国際公共政策の実務に必要な問題解決能力を備えた人材を育成します。

国際関係分野では、国際関係論、国際安全保障論、国際法、アメリカ、ヨーロッパ、ロシア・東欧、中国および現代日本に関する国内政治経済や政治外交、国際関係を研究しま

す。またフィールドワークをもとにしたグローバルイゼーション研究、地域開発論、移民研究などを研究します。

社会学分野は社会問題と文化論の研究と教育を行ないます。社会問題では医療、教育、家族、地域の問題や逸脱行動を、文化論においては、現代の表象文化、知識、歴史、コミュニケーション、組織、都市およびスポーツ論などを研究します。

地域研究分野では特定の国家や地域社会の内在的かつ総合的理解を目指す「地域研究」に取り組み、国際性・学際性・実践性を身につけ

ます。対象に自ら主体的に働きかけ、国際貢献や国際協力の現場で活躍できる、広い視野をもった高度な専門職業人、特定地域の専門家になることを目指します。

公共政策分野は、経済学、政治学、法学等の理論、基本概念、アプローチを用いて実際の政策分析と評価を行うための研究をします。とくに、政策立案能力、実施の効果とそれに伴う開発政策上の課題の分析能力の向上を目指します。

国際関係分野 International Relations

赤根谷達雄	AKANEYA, Tatsuo	国際関係論、レジーム論、安全保障論	International Relations, Regime Theory, International Security
鈴木 創	SUZUKI, So	アメリカ政治、議会研究	American Politics, Legislative Studies
鈴木伸隆	SUZUKI, Nobutaka	文化変動論、移民研究、フィリピン研究	Theory of Cultural Change, Migration Studies, Philippine Studies
関根久雄	SEKINE, Hisao	地域開発論、開発の人類学、オセアニア研究	Regional Development, Development Anthropology, Oceanic Studies
竹中佳彦	TAKENAKA, Yoshihiko	日本政治（イデオロギーと政治意識、投票行動などの計量分析／戦後の政治史・思想史）	Japanese Politics (Quantitative Analysis on Ideology, Political Attitudes and Voting Behavior, Post-war Political History and History of Thought)
寺内大左	TERAUCHI, Daisuke	環境人類学、環境社会論、国際開発農学	Environmental Anthropology, Environmental Sociology, Global Agricultural Development
外山文子	TOYAMA, Ayako	比較政治学、東南アジア地域研究(タイ政治)	Comparative Politics, Southeast Asian Area Studies (Thai Politics)
中村逸郎	NAKAMURA, Itsuro	現代ロシア研究、ロシア政治、中央アジア政治	Modern Russian Studies, Russian Politics, Central Asian Politics
東野篤子	HIGASHINO, Atsuko	ヨーロッパの国際関係	International Relations in Europe
前川啓治	MAEGAWA, Keiji	文化人類学、国際文化論、地域づくり	Cultural Anthropology, Theory of International Culture, Regional Development
松岡 完	MATSUOKA, Hiroshi	冷戦期のアメリカ政治・外交・軍事史	American Politics, Diplomatic and Military History during the Cold War
松島みどり	MATSUSHIMA, Midori	国際公共政策、国際保健医療、インパクト評価	International Public Policy, International Health, Impact Evaluation
南山 淳	MINAMIYAMA, Atsushi	国際政治理論、国際紛争と安全保障	International Relations Theory, Global Conflict and Security
毛利亜樹	MORI, Aki	中国政治、国際関係	Politics of China, International Relations
吉田 脩	YOSHIDA, Osamu	国際法	International Law

社会学分野 Sociology

五十嵐泰正	IGARASHI, Yasumasa	都市社会学、国際移動論	Urban Sociology, Transnational Migration
ウラノ エジソンヨシアキ	URANO, Edson Ioshiaqui	労働社会学、国際社会学、国際社会政策	Labor Sociology, Transnational Sociology, Global Social Policy
奥山敏雄	OKUYAMA, Toshio	医療社会学、組織理論	Medical Sociology, Organizational Sociology
葛山泰央	KATSURAYAMA, Yasuo	言説分析、社会学理論、政治社会論	Discourse Analysis, Sociological Theory, Theory of Political Society
土井隆義	DOI, Takayoshi	犯罪社会学、逸脱行動論、青少年問題	Criminal Sociology, Theory of Deviant Behavior, Problems of Youth
野上 元	NOGAMI, Gen	歴史社会学、社会情報学	Historical Sociology, Socio-information Studies
黄 順姫	WHANG, Soon-Hee	文化社会学、スポーツ社会学、教育社会学	Sociology of Culture, Sociology of Sport, Sociology of Education
森 直人	MORI, Naoto	社会階層論、教育福祉の社会学	Social Stratification, Sociology of Education and Social Welfare

地域研究分野 Area Studies

秋山 学	AKIYAMA, Manabu	古典古代学、仏教史	Classical Studies, History of Buddhism
インセバエヴァ サビーナ*	INSEBAYEVA, Sabina	国際関係論、科学と技術、国際開発、中央アジア	International Affairs, Science and Technology International Development, Central Asia
白山利信	USUYAMA, Toshinobu	ロシア語学、外国語教育、言語政策論	Russian Linguistics, Foreign Language Education, Language Policy
ウラノ エジソンヨシアキ	URANO, Edson Ioshiaqui	労働社会学、国際社会学、国際社会政策	Labor Sociology, International Social Studies, International Social Policy
柏木健一	KASHIWAGI, Kenichi	開発経済学、中東・北アフリカ経済研究	Development Economics, Economy of Middle East and North Africa
加藤百合	KATO, Yuri	比較文学、スラヴ文学	Comparative Literature and Slavic Literature
茅根由佳*	KAYANE, Yuka	政治学、東南アジア地域研究	Political Science, Southeast Asian Area Studies
金 仁和	KIM, In-hwa	韓国語学、対照言語学	Korean Linguistics, Contrastive Linguistics
呉羽正昭*	KUREHA, Masaaki	ヨーロッパ地誌学、人文地理学	Regional Geography of Central Europe, Human Geography
塩谷哲史	SHIOYA, Akifumi	中央アジア近現代史、ロシア・ソ連史、イスラーム地域研究	Modern History of Central Asia, History of Russia and the Soviets, Islamic Area Studies
竹谷悦子*	TAKETANI, Etsuko	アメリカ文学・文化	American Literature and Culture
ダダバエフ ティムール	DADABAEV, Timur	中央アジアの国際関係論	International Relations in Central Asia

津田博司*	TSUDA, Hiroshi イギリス帝国史 (カナダ・オーストラリア史) History of the British Empire, Australian and Canadian studies
タック川崎 レスリー	TKACH-KAWASAKI, Leslie 政治学、政治コミュニケーション、ホームページ内容分析、インターネット研究 Political Science, Political Communication, Website Analysis, Internet Studies
堤 純	TSUTSUMI, Jun 地理学、オーストラリア研究 Geography, Australian Studies
徳丸亜木*	TOKUMARU, Aki 歴史民俗学、比較民俗学、信仰伝承論 Historical Folklore, Comparative Folklore, Theory of Folk Beliefs
外山文子	TOYAMA, Ayako 比較政治学、東南アジア地域研究 (タイ政治) Comparative Politics, Southeast Asian Area Studies (Thai Politics)
丸山 宏*	MARUYAMA, Hiroshi 中国宗教社会史 Socio-religious History of China
マレク モハマド アブドゥル	MALEK, Mohammad Abdul 経済政策、開発経済学、農業開発、南アジア・東南アジア経済研究 Economic policy, Development Economics, Agricultural Development, Economy of South Asia and Southeast Asia
宮崎和夫*	MIYAZAKI, Kazuo スペイン史・スペイン文化研究 History of Spain, Spanish Cultural Studies
箕輪真理	MINOWA, Mari 開発経済学、ラテンアメリカ経済研究 Development Economics, Latin American Economy
毛利亜樹	MORI, Aki 中国政治、国際関係 Politics of China, International Relations
山田重郎*	YAMADA, Shigeo オリエンタ史 (アッシリア学) Oriental History (Assyriology)
山本 真*	YAMAMOTO, Shin 中国・台湾近現代史 Modern History of China and Taiwan
山本祐規子	YAMAMOTO, Yukiko 中央ユーラシア研究、教育行政政策 Central Eurasia Studies, Administrative Policy Studies in Education

経済・公共政策分野 Public Policy

明石純一*	AKASHI, Junichi 移民・難民研究、国際人口移動論、グローバルガバナンス Immigration Studies, International Migration, Global Governance
秋山 肇*	AKIYAMA, Hajime 憲法、国際法、国際政治、平和研究 Constitutional Law, International Law, International Politics, Peace Studies
大倉沙江*	OKURA, Sae 政治学、政治過程論、市民参加 Political Science, Political Participation, Civic Activities
大友貴史	OHTOMO, Takafumi 国際政治理論、国際安全保障 Theory of International Politics, International Security
柏木健一	KASHIWAGI, Kenichi 開発経済学、中東・北アフリカ経済研究 Development Economics, Economy of Middle East and North Africa
木山幸輔*	KIYAMA, Kosuke 公共哲学、政治哲学 Public Philosophy, Political Philosophy
黒川義教	KUROKAWA, Yoshinori 国際貿易論、産業組織論、マクロ経済学、日本経済論 International Trade, Industrial Organization, Macroeconomics, Japanese Economy
蔡 芸琦*	TSAI, Yunchi 刑法 Criminal Law
高橋秀直*	TAKAHASHI, Hidenao 金融論、金融史 Monetary Economics, Monetary History
タック川崎 レスリー	TKACH-KAWASAKI, Leslie 政治学、政治コミュニケーション、ホームページ内容分析、インターネット研究 Political Science, Political Communication, Website Analysis, Internet Studies
田中洋子*	TANAKA, Yoko 企業・労働史、比較歴史分析、ドイツ経済史・経済論 History of and Labour, Comparative Analysis on History, Economic History and Economy of Germany
崔 宰英*	CHOE, Jae Young 計量社会科学、計量政治学 (比較分析) Quantitative Social Science, Quantitative Study of Comparative Politics
内藤久裕	NAITO, Hisahiro 公共経済学、ミクロ経済学 Public Economics, Microeconomics
中野優子	NAKANO, Yuko 開発経済学、アフリカ経済 Development Economics, African Economy
福住多一	FUKUZUMI, Masakazu ゲーム理論、進化ゲーム理論、ミクロ経済学 Game Theory, Evolutionary Game Theory, Microeconomics
マレク モハマド アブドゥル	MALEK, Mohammad Abdul 経済政策、開発経済学、農業開発、南アジア・東南アジア経済研究 Economic policy, Development Economics, Agricultural Development, Economy of South Asia and Southeast Asia
箕輪真理	MINOWA, Mari 開発経済学、ラテンアメリカ経済研究 Development Economics, Latin American Economy
モゲス アブ ギルマ	MOGES, Abu Girma 開発経済学、アフリカの政治経済、貧困と不平等 Development Economics, African Political Economy, Poverty and Inequality Analysis
守田智保子*	MORITA, Chihoko 刑事訴訟法 Criminal Procedure
ユウ ゼンフェイ	YU, Zhengfei 計量経済学 Econometrics

※印の教員は、指導教員に指名できません。(The faculty members with ※ offer classes only and cannot be selected as academic advisor.)

about the
GRADUATE
DIVISION

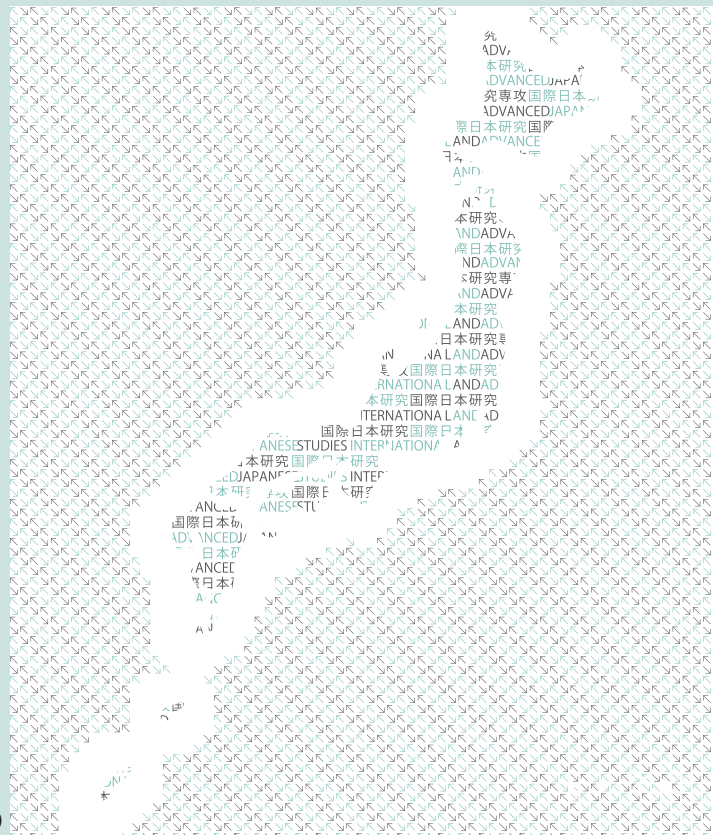
国際日本研究学位プログラム

Master's and Doctoral Programs in International and Advanced Japanese Studies

The Master's and Doctoral Programs in International and Advanced Japanese Studies (IAJS) are two graduate programs in the Degree Programs in Humanities and Social Sciences. IAJS embraces disciplines in the humanities, social sciences, Japanese language pedagogy, and multidisciplinary studies to allow students to acquire firm foundations in education and research training at the graduate level.

The programs accept working professionals and individuals who wish to continue education and research at the graduate level. Many international students, of course, have been accepted. Globally acclaimed faculty can provide academic guidance at the highest level based on their multidisciplinary education and research programs. Students can take advantage of an accelerated academic schedule allowing them to graduate with combined master's and doctoral degrees within three years after obtaining approval from their main advisor and subprogram leader.

The IAJS program is a unique degree program where students from diverse backgrounds study and conduct research in an encouraging and supportive academic environment.



Nils Clauss 2009



国際日本研究学位プログラムについて

国際日本研究学位プログラムの前身である国際日本研究専攻は、平成20年に博士後期課程のみを有して発足、その後、平成27年には博士前期課程を新設して拡大発展を続けてきました。国際日本研究学位プログラムでは、これまでの国際日本研究専攻の成果を引き継ぎつつ、人文科学、社会科学、日本語教育学の3領域を横断する国際日本研究の研究力・専門知識・倫理観の涵養を図るとともに、博士前期課程では、人文社会科学の幅広い基礎的素養、人文社会ビジネスにわたる広い視

野、社会の多様な場での活躍を支える汎用的知識・能力を、また博士後期課程では、高度な研究力・先端的な専門知識・深い倫理観を伴う人文社会科学の幅広い基礎的素養、人文社会ビジネスにわたる広い視野、社会の多様な場での活躍を支える汎用的知識・能力についての開発をそれぞれ主眼とする教育・研究指導を行ってゆきます。

また、早期修了・長期履修といった制度、社会人特別選抜や指定校推薦といった制度の活用も続けており、日本から世界に向けて多様性に

あふれた融合学際型の教育研究システムの展開を引き続き図ってゆきます。

社会科学領域 Social Studies Group

明石純一	AKASHI, Jun'ichi 移民・難民研究、国際人口移動論、グローバルガバナンス Migration and Refugee Studies, International Population Movements in Asia, Global Governance on Migration
生藤昌子	IKEFUJI, Masako 経済成長・環境経済学・経済政策 Economic Growth, Environmental Economics, Economic Policy
大友貴史	OHTOMO, Takafumi 国際政治理論、国際安全保障 International Relations, International Security
塩谷哲史	SHIOYA, Akifumi 歴史学、中央ユーラシア史、イスラーム地域研究 History, History of Central Eurasia, Islamic Area Studies
柴田政子	SHIBATA, Masako 比較教育、歴史教育、国際紛争教育 Comparative Education, History Education, Education and International Conflict
関 能徳	SEKI, Katsunori 比較政治学、比較政治経済学、計量政治学、民主化、独裁制、選挙アカウンタビリティ Comparative Politics, Comparative Political Economy, Quantitative Political Science, Democratization, Dictatorship, Electoral Accountability
高橋秀直	TAKAHASHI, Hidenao 金融論、金融史 Monetary Economics, Monetary History
タック 川崎 レスリー	TKACH-KAWASAKI, Leslie 政治コミュニケーション、ニューメディアと政治 Political Communication, New Media and Politics, Website Analysis, E-science
田中 洋子	TANAKA, Yoko グローバル社会経済史、比較歴史分析 Global Socio-Economic History, Comparative Historical Analysis
ダダバエフ ティムール	DADABAEV, Timur 国際関係、中央アジアの国際政治、地域統合、地域機構 International Relations, International Politics in Central Asia, Regional Integration, Regional Institutions
崔 宰英	CHOE, Jae-Young 計量社会科学、計量比較政治学、交通計画・政策 Quantitative Social Science, Quantitative Study of Comparative Politics, Public Policy (Urban/Transport Policy)
根本信義	NEMOTO, Nobuyoshi 法と市民社会、裁判実務、紛争解決 Civil Society Established by Law, Trial Practice, Dispute Settlement
潘 亮	PAN, Liang 戦後日本外交、現代日本政治外交史、日本の国連政策 Postwar Japanese Foreign Policy, Modern Japanese Diplomatic History, Japanese Relations with the United Nations
平沢照雄	HIRASAWA, Teruo 現代日本経済史、日本経済論、地域経済論、中小企業論 Japanese Economic History, Japanese Economy, Regional Economy, Small Business
福住多一	FUKUZUMI, Masakazu ゲーム理論、進化ゲーム理論、数理経済学 Game Theory, Evolutionary Game Theory, Mathematical Economics
宮坂 渉	MIYASAKA, Wataru 古代ローマ法、民法、西洋法制史、法と国際社会 Fundamental Law, Civil Law
山本英弘	YAMAMOTO, Hidehiro 社会学、政治社会学、市民社会、社会運動、利益団体、計量社会学、社会調査 Sociology, Political Sociology, Civil Society, Social Movement, Interest Group, Sociometrics, Social Survey

人文科学領域 Humanities Group

江口 真規	EGUCHI, Maki 比較文学、動物表象、アニマル・スタディーズ、羊 Comparative Literature, Animal Representation, Animal Studies, Sheep
嚴 錫仁	EOM, Seogin 東アジア比較思想史、家庭教育論 Comparative Thought of History on East Asia, Studies on Home Education
海後宗男	KAIGO, Muneo 情報メディア論、メディア・コミュニケーション論 Media Communication Research, Information and Network Society
白戸健一郎	SHIRATO, Kenichiro メディア史、東アジアのメディア文化論、放送文化論 Media History, Media Culture in East Asia, Broadcasting Culture
津城寛文	TSUSHIRO, Hirofumi 日本の精神文化、宗教と社会、公共宗教、日本宗教 Religion and Society, Public Religion, Modern Spiritualism
平石典子	HIRAISHI, Noriko 比較文学（ヨーロッパ世紀末文学、日本近・現代文学） Comparative Literature (European Fin-de-Siecle Literature, Modern Japanese Literature)
平山朝治	HIRAYAMA, Asaji 日本文化と経済思想、経済思想、経済システム論 Economic Ideas, Theory of Economic System, Comparative Study of Thoughts and Ideas
渡部宏樹	WATABE, Kohki 表象文化論 Culture and Representation

日本語教育学領域 Japanese Language and Japanese Language Pedagogy Group

- 井出里咲子 IDE, Risako 言語人類学、ことばの民族誌、社会言語学 Linguistic Anthropology, Ethnography of Communication, Sociolinguistics
- 伊藤秀明 ITO, Hideaki 日本語教育学、日本語教育方法研究 Japanese Language Education, Japanese Language Educational Methods
- ヴァンバーレン
ルート VANBAELEN, Ruth 日本語を中心とした社会言語学 Sociolinguistic Studies with a Focus on Japanese Language
- 小野正樹 ONO, Masaki 日本語を中心とした語用論研究、日本語教育学 Japanese Language Education, Japanese Functional Grammar
- 木戸光子 KIDO, Mitsuko 日本語学（文章論）、日本語教育学 Japanese Language Education, Study on Japanese Discourse
- 関崎博紀 SEKIZAKI, Hironori 日本語教育学、会話の分析 Japanese Language Education, Conversation Analysis
- 高木智世 TAKAGI, Tomoyo 会話分析、エスノメソドロジー、ディスコース、社会言語学 Conversation Analysis, Ethnomethodology, Discourse, Sociolinguistics
- ブッシュネル
ケード コンラン BUSHNELL, Cade Conlan エスノメソドロジー的会話分析、社会文化的学習論 Ethnomethodological Studies, Conversation Analysis, Situated Learning, Japanese Language Education
- 文 昶允 MOON, Chang Yun 日本語音韻論 Japanese Phonology
- チョーハン
アヌブティ Chauhan ANUBHUTI 日本語教育学、第二言語習得 Japanese language education, Second language acquisition

キャンパスマップ 中地区

Campus Map (Central Area)



事務所の位置 Program Offices

人文社会学系棟：K7

Institutes of Humanities and Social Sciences Building: K7

人文学学位プログラム (哲学・思想、歴史・人類学、文学、言語学、現代文化学、英語教育学 各サブプログラム)、国際日本研究学位プログラム

Master's and Doctoral Programs in Humanities (Subprograms in Philosophy, History and Anthropology, Literature, Linguistics, Modern Culture Studies, English Language Education)

Master's and Doctoral Programs in International and Advanced Japanese Studies

文科系修士棟 A:J8

Master's Programs in Humanities and Social Sciences Building: J8

国際公共政策学位プログラム (旧国際地域研究専攻)

Master's and Doctoral Programs in International Public Policy (Master's Program in Area Studies)

3K棟：I7

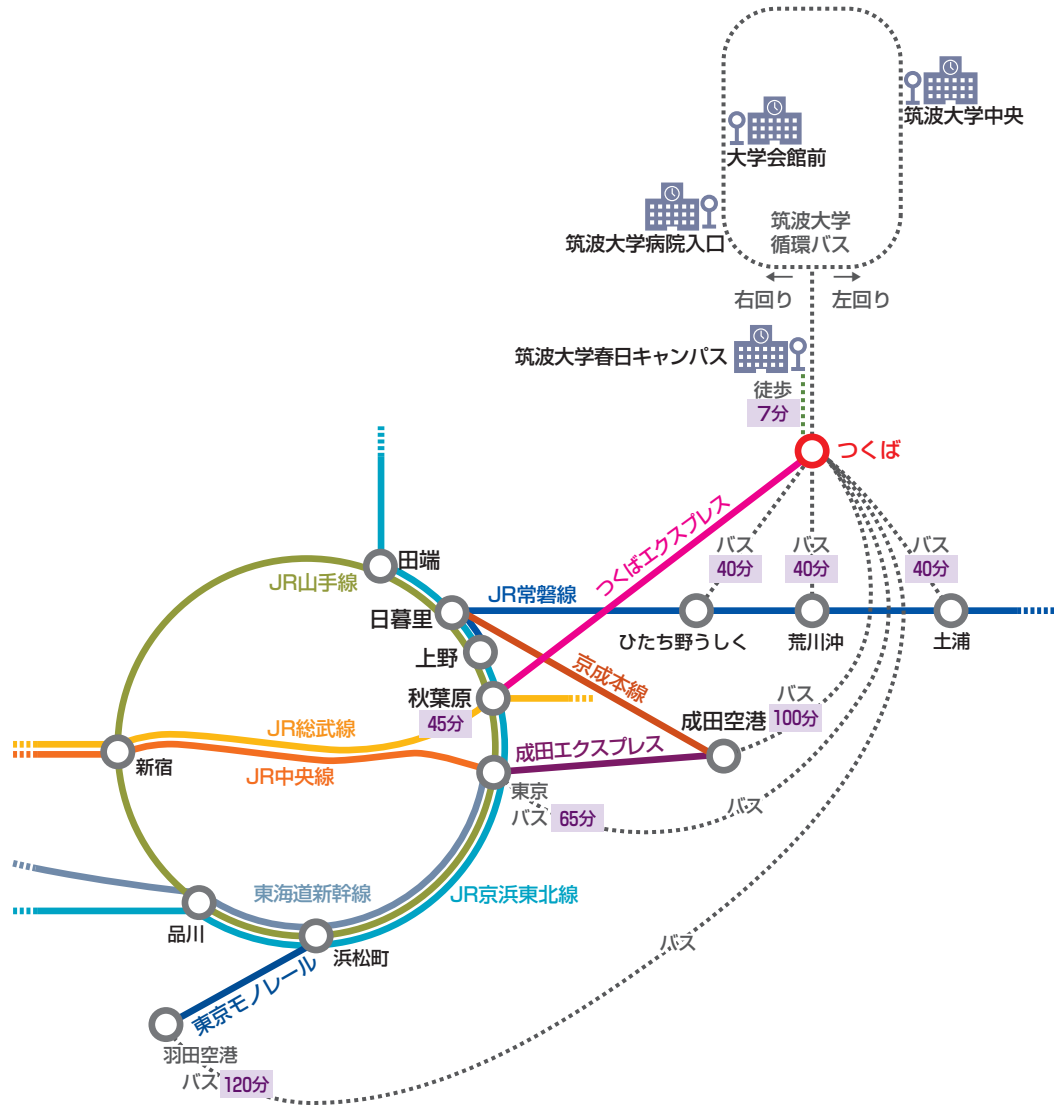
3K Building: I7

国際公共政策学位プログラム

Master's and Doctoral Programs in International Public Policy

筑波キャンパス 交通アクセス

筑波キャンパスへの交通アクセス・路線図



交通手段	出発地	所要時間	備考
つくばエクスプレス	秋葉原駅	45分	
JR常磐線	上野駅	62分	約40分 (つくばセンター)
高速バス	羽田空港	約120分	
高速バス	成田空港	約100分	
常磐高速道路	つくばエクスプレス	約80分	

つくばセンターから筑波大学へのアクセス: 関東鉄道バス「大学循環」約15分

UNIVERSITY OF TSUKUBA
Graduate School of Business Sciences,
Humanities and Social Sciences
2021

お問い合わせ

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学大学院
人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群
Degree Programs in Humanities and Social Sciences,
Graduate School of Business Sciences,
Humanities and Social Sciences,
University of Tsukuba
1-1-1 Tennodai, Tsukuba, Ibaraki,
305-8571 Japan
Tel.+81-(0)-29-853-7716, Fax.+81-(0)-29-853-6143
<https://www.hass.tsukuba.ac.jp/>

